

大使館からのお知らせ

【治安情報】当地新聞より（殺人事件、強盗事件など、毎月の主要な事件について概要をお知らせしています。）

「サンフェリペ地区で拳銃被害」

4月12日（土）午前4時45分、サンホセ県アラフェリータ市サンフェリペ地区において、男性2名が口論の末、拳銃を発砲したところ、近くにいた男女1組と女性1名が流れ弾を被弾した。31歳の女性は脚を負傷し、一緒にいた30歳の男性は腹部に銃弾を受けた。また、別の30歳の女性も背中にかすり傷を負った。

「クリダバ市の住宅で侵入未遂、警備員が撃たれ重傷」

4月12日（土）午後9時30分、サンホセ県クリダバ市ビジャスデアジャルコの住宅に男性2名が侵入しようとしたところを警備員が発見し、拳銃を発砲した。男性2名の内、1名が死亡。もう1名は逃走したが、その際、警備員に向かって2発発砲した。警備員は腹部に2発被弾し、病院に運ばれたが、重体となった。

「サバナスールの公園で女性の遺体発見」

4月13日（日）午後3時15分、サンホセ県サンホセ市サバナスールにある公園で女性の遺体が発見された。年齢は20歳～25歳と見られ、短いブラウスとサンダルを身につけており、うつ伏せの状態で発見された。死後5日程度経過しており、身体には火傷の痕や傷があったが、遺体付近に遺留品はなく、身元は不明。

「リモン市で男性が25発撃たれる」

4月15日（火）午前9時、リモン県リモン市において、白い車に乗った3人組の男達が25歳の男性に向け、発砲した。男性は25発撃たれたが、一命は取り留めた。

「セマナサンタ期間中の事故による死者数」

セマナサンタ期間中の事故による死者数に関しては以下の通り。

- ・交通事故による死者 12名（内、轢死4名、衝突による死亡5名、横転による死亡3名）
- ・溺死 6名（2013年の同期間においては3名であった。）

・セマナサンタ期間中の死者数は過去6年間（2009年～2014年）の中で今年が一番少ないが、6年間の死者数合計は173人であり、内、30%が溺死、27%が交通事故による死亡、22%が銃などを使用した事件による死亡、その他が21%であった。

「26歳男性、銃で撃たれ死亡」

4月19日（土）午後7時、サンホセ県デサンパラードス市ロスギート地区において、26歳の男性が公道を歩いていたところ、バイクに乗った数名の者が通りがかりに4回発砲した。男性は病院に運ばれたが死亡した。

「33歳男性、頭部を撃たれ死亡」

4月19日（土）午後8時15分、パパス市において、33歳の男性が頭部に銃弾を受け、病院で死亡した。

「アメリカ人観光客の24歳女性、強盗に撃たれる」

4月19日（土）夜間、サンホセ県モンテスデオカ市ロスジョセス地区において、アメリカ人観光客3名がホテルの近くを歩いていたところ、4人組の強盗に襲われた。その際、抵抗した24歳の女性が銃で撃たれ、病院に運ばれた。犯人達は銀色の車で逃走した。

「隣人トラブルで26歳男性が撃たれ死亡」

4月21日（月）午後9時45分、サンホセ県デサンパラードス市サンラファエル地区において、26歳の男性が、隣人の飼っている犬が自宅の庭でフンをしたことに怒り、苦情を入れに隣家を訪ねたところ、隣人に銃で撃たれた。男性は腹部に被弾し、死亡した。

「モラビア市の中央公園で19歳男性、強盗に撃たれる」

4月21日（月）午後10時、サンホセ県モラビア市にある中央公園で19歳の男性が恋人と一緒にいたところ、20代の男性が近づいてきて時間を尋ねられた。19歳の男性は時計を持っておらず、携帯電話も故障しているため時間はわからないと返答したところ、持っていた携帯電話を強奪されそうになったため抵抗したところ、銃で撃たれ携帯電話を盗まれた。強盗の男は待っていた仲間の車に乗り込み、32号線方面へ逃走したと見られている。

「タクシードライバー、銃で撃たれ死亡」

4月25日（金）午前5時55分、サンホセ県コロナド市サンペドロ聖堂の向かいにおいて、43歳のタクシードライバーが停車していたところ、何者かに銃で撃たれ死亡した。

「パパス市で銃発砲、6名ケガ」

4月25日（金）午後9時25分、サンホセ県パパス市サンフアン地区の路上において車両から通り にいた人への発砲事件があり、男性4名、女性2名の計6名が負傷した。事件があった地区は麻薬組織が複数存在しており、組織同士の抗争が原因と見られている。

以上

◆ 大使館では皆さまからの情報提供をお待ちしています。◆
TEL: (506)2232-1255 FAX: (506)2231-3140
E-mail: japon-consulado@sj.mofa.go.jp (大使館領事班)
または eriko.nishida@mofa.go.jp (西田)まで